



巻頭言／大阪北部地震を教訓に協力連携、 創意工夫を生かし迅速かつ効果的な行動を — 2

岩戸ホーム 第2期ユニット型特養が完成 ————— 3

バリアフリー対応の「サ高住 高槻けやきの郷」オープン ————— 3

ベトナム人留学生4名をアルバイト採用 ————— 3

研修／人材育成 ————— 4～5

保育基礎研修 明日の保育を担う若い力を育てる

ファーストステージ研修 新入スタッフ自覚と期待胸に職場へ

新規開講「グローバル実務者研修」在日外国人を支援

先輩からのメッセージ(高齢者/保育)

地域貢献／交流 ————— 6～7

子育て支援「こいのぼりをつくろう会」認定こども園一津屋愛育園

避難誘導・AED訓練怠るな!—「そだね～」岩戸ホームが合同訓練

振り込み詐欺被害を防ぐ法 高槻警察署員が「元気祭り」で伝授

情報開示(高齢者・保育) ————— 4～10

29年度研修報告/30年度研修計画/29年度地域貢献事業報告

29年度事業報告/30年度事業計画

29年度決算報告/30年度資金収支予算

「ママありがとう」母の日へ花束とメッセージ ココリスの子どもたち — 11

「さすまた」で不審者撃退 東生野愛育園で緊迫の防犯訓練 — 11

トピックス ————— 12



社会福祉法人 成光苑

2018
夏号

第二愛育園 新館園庭に出現 「こわくないよ!」と順番待ちの人気



“八角ジム”って!?

第二愛育園の新館(3・4歳児専用棟)園庭に遊具「八角ジム」が設置されました(4月19日)。カラフルな新しい遊具に子どもたちは「早く遊びたい!」と大歓声、さっそく木登り遊びのように楽しみました。まるで園庭に大きな木があるかのようなこの遊具ですが、「こわくないよ!」と順番待ちの人気となりました。

準々決勝引き分けジャンケン勝負で敗退 施設職員ソフト大会で大阪チーム成光苑

第50回施設職員ソフトボール大会(大阪民間福祉施設従事者共済会主催)が大阪・舞洲で開かれ「大阪チーム成光苑」の男女16名が参加しました(5月24日)。予選リーグで打線爆発の2試合連続コールド勝ち。ベスト8に進出しましたが、準々決勝で緊迫の投手戦のすえ引き分け。ジャンケン勝負で惜しくも敗退しました。



京都3施設がソフトボールクラブチーム結成

成光苑京都3施設(岩戸ホーム、サンヒルズ紫豊館、ライフステージ 舞夢)はソフトボールクラブチーム(部員26名)を結成(3月28日)。福知山市で一般社会人が活動する「エイリーグ」に加盟しました。



ヒツジやウサギに小さな手でエサやり くるみ愛育園で「ふれあい動物園」

くるみ愛育園は、園庭で「ふれあい動物園」を開きました(5月26日)。

大阪府立農芸高校(堺市)の学生さんがヒツジ・ウサギ・ヤギ・モルモット・ブタなどたくさんの動物たちを連れて来園。子どもたちは学生さんから動物に関する知識や生命の大切さを教えてもらいました。小さな手で餌を差し出すと「食べた!」と子どもたちは満面の笑み。民生委員の方にも手伝ってもらい、近隣の保育園児や親子連れも参加され大盛況でした。



スマホ対応や会員専用ページも ココリス HPを新たにアップ

ココリス(障がい福祉サービス)は、ホームページを新たにアップしました(6月14日)。サービス内容はもちろん、イベント情報などタイムリーにお届けできるようになりました。

また、スマホ対応や会員専用ページを設定、ご利用者のご家族からも「様子がよくわかります」と好評です。今後も情報発信のツールとして運用していきます。

(お問い合わせ: ☎06-4862-5922 重村)



【法人理念】

1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。

【サービス目標】

1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。

【老人施設経営方針】

1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する。
2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする。
3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する。

【愛育園経営方針】

1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
3. 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

【発行日】2018年7月

【発行】社会福祉法人 成光苑 (理事長 高岡 國士)

〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7

TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551

URL. <http://www.onyx.dti.ne.jp/~seikouen/>

★「ききょう」の由来

創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。

QRコードで簡単アクセス!



巻頭言



大阪北部地震を教訓に協力連携
創意工夫を生かし、迅速かつ効果的な行動を

理事長 高岡 國士

社会福祉法人成光苑の事業推進にあたり、日ごろから皆様の多大なご協力とお力添えをいただき感謝とお礼を申し上げます。

様々に異なる緊急時の危機管理対応

6月18日午前7時58分、大阪北部を震源とする震度6弱の地震が起きました。大阪でこれまでの最大の震度を記録する激しい揺れに肝を冷やした方も多くおられたと思いますが、とりわけ地震により被災された方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い日常生活への復帰をご祈念申し上げます。

危機管理は、社会福祉事業にかかる各種業務を通じて、ご利用者の日常生活全般にわたって法人・施設が管理する通常の危機管理と、今回のような地震災害に伴う緊急的危機管理対応があります。この両者の決定的な違いは、少しいの対応の遅れで人的物的被害の範囲や程度が格段に違ってくる点にあります。従って、早急な災害対応が求められることとなりますが、各園・施設において災害対応マニュアルを整備し万全の備えを講じていても、災害発生時の対応は状況に応じ様々に異なります。

スタッフ一丸、ご利用者の安心・安全を守る

成光苑が経営する社会福祉施設は、大阪府内の摂津市・高槻市、吹田市、大阪市や京都府福知山市や舞鶴市に所在しており、高齢者施設、保育施設、障がい施設と施設種別も多岐にわたりますが、そこに関わるご利用者の全ての安心・安全な生活を送っていただくよう、法人・施設として最大限の努力を欠かしてはならないと考えます。

この実現のためには、成光苑の各スタッフが一丸となつて協力連携することが必要であり、災害発生時には、より迅速かつ効果的な行動が最も重要であります。

全ての災害を想定したマニュアルの策定は不可能かもしれませんが、これまで全国各地で起きた様々な災害事象とも照らし合わせ、今回の大阪北部地震を考察する必要があります。真に必要な人に、必要な事を、必要な時に対応できるように、実践的な振り返りを行い、災害マニュアルのカスタマイズが喫緊の課題として非常に重要だと思います。

福祉人材の危機的不足に問われる対応力

一方で、福祉人材の担い手不足がより一層深刻になってきており、全国の社会福祉施設の一部では、職員不足のため事業縮小や会社社に例えるなら倒産の危機に瀕するといった、いわゆる人災に見舞われています。このことも、地震に勝るとも劣らない深刻な事象であると言えます。社会福祉法人の危機管理能力が試されており、社会福祉法人を取り巻くこの危機的状況に的確に対応していくことが、今後の社会福祉法人成光苑の行く末を決めると言っても過言ではありません。十年後も地域の住民が「信頼」にできる社会資源となつていくことを目指し、さらなる精進を続けていくことが肝要です。

大阪北部地震発生時に実践した危機管理手法を使い、直面する課題への即時対応や関係施設間の協力連携、園・施設スタッフの創意工夫の実践により、この厳しい局面を乗り越えてまいりますとともに、地域福祉の拠点として、地域に信頼され、愛される園・施設の運営に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。

子どもの安全を守れ!

東生野愛育園で緊迫の防犯訓練

“さすまた”で不審者撃退

東生野愛育園は2月21日、生野警察署員(2名)を招き、スタッフを対象に不審者対応防犯訓練を行いました。園庭での訓練が園児に恐怖心を与えない配慮から全保育室のカーテンを閉めて行われました。不審者役はこれまでのスタッフに代わり、警察署員がさすまたを握る手が震えるスタッフもみられるなど緊迫感のある訓練となりました。園児には防犯のDVD映像のほか、署員から「知らない人には付いていかない」「大きな声を出す」といった不審者対応の話があり、園児たちも真剣な表情で聞き入っていました。



記念のキウイフルーツ実る

～新園舎とともに育つて5年～ 認定こども園正雀愛育園

認定こども園正雀愛育園に植えたキウイフルーツが今年、つと葉っぱの間からたわに実ってきました。新園舎に衣替えした平成25年夏、記念に玄関前に苗を植えてから5年目です。子どもたちと一緒にその成長を見守ってきました。ようやく昨年から少しずつ実ようになってきたところでしたが、小ぶりでも驚くほど酸っぱい味でした。そして今年、子どもたちも「なってる! なってる!」と気になる様子。甘い味に育ってくれるかなあ、と気をもむ日々です。



グループ高齢者施設で さくらんぼ狩り お返しは歌と手作りペンダント

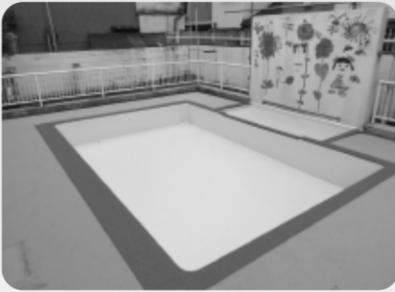
第二愛育園・きりん夜間愛育園5歳児



第二愛育園ときりん夜間愛育園の5歳児(32名)が5月2日、成光苑グループの高槻けやきの郷(高齢者施設)を訪問し、同施設の畑で栽培されているさくらんぼ狩りを楽しませていただきました。同施設に到着すると、子どもたちはたくさんの赤い実を目を輝かせ大興奮。「ちょっとスッパイけど美味し〜い」と歓声が広がりました。そのあと施設のご入居者に歌を披露し手作りペンダントをプレゼント。小さなポケットにさくらんぼを入れ大事そうに持ち帰りました。

ピッカピカのプールで水遊び

—安全重視の設備補修完了— 東生野愛育園



東生野愛育園は、公立時代から使用されている屋外プール設備が年数も経ち劣化が目立つようになってきたため5月下旬、プールサイドに滑り止めのシートも敷くなど安全面を考慮した補修工事を行いました。

補修工事が完了したプールが園舎から見え、子どもたちは「きれいになった!ピッカピカや〜」と歓声が聞かれました。プール遊びは子どもたちの一番の楽しみ。この夏は新しく生まれ変わったプールで、伸び伸びと泳ぐ姿が見られます。

ママの子どもたち 「ママありがとう」

～母の日へカラフルな花束とメッセージ～

障がい福祉サービスのココリスは5月13日、児童発達支援・放課後等デイサービスの子どもたちと一緒に母の日のプレゼント作りをしました。



一日遅れでしたが、様々なカラーの花紙を折ったり貼ったりと工夫を重ね、素敵な花束が完成しました。

「ママ(ママ)ありがとう」とお母さんへのメッセージもしっかり書き、プレゼントを渡す練習をする姿も微笑ましい光景でした。

日本財団から 福祉車両を助成

装備も充実送迎車

せつつ桜苑



せつつ桜苑に対する公益財団法人日本財団の福祉車両助成が決まり、福祉車両一台が助成されました。

これまで長年、頑張ってくれたデイサービスセンターの送迎車が故障がちとなってきたこともあり今回、ピカピカの福祉車両を迎えることができました。装備も充実した快適な送迎車でご利用者もスタッフも大喜びです。

29年度 決算報告

【事業活動収支計算書】

Table with columns: 勘定科目, 本部, 保育園, 高齢者施設, 公益事業, 内部消去, 合計. Rows include 事業活動収支, 事業活動資金収支差額, 施設整備等収支, 施設整備等資金収支差額, その他の活動収支, その他の活動資金収支差額, 当期資金収支差額合計, 前期末支払資金残高, 当期末支払資金残高.

(保育園は認定こども園を含む) (高齢者施設は障害を含む)

成光苑事業区分

- 社会福祉事業 (本部) 本部、地域貢献事業 (保育事業) 千里丘愛育園、第二愛育園、正雀愛育園、一津屋愛育園、くるみ愛育園、くるみ小規模保育園、きりん夜間愛育園、東生野愛育園 (介護事業) 岩戸ホーム、サンヒルズ紫豊館、せつつ桜苑、高槻けやきの郷、吹田竜ヶ池ホーム、ライフ・ステージ 舞夢、厚デイサービスセンター、きりんデイサービスセンター、きりんヘルパーステーション、加佐デイサービスセンター、寿みのりの郷デイサービスセンター、デイ・ホーム 和夢 (障がい福祉事業) ココリス ●公益事業 高優賃 竜ヶ池ハウス、サ高住 けやきの郷、岩戸診療所、桜苑診療所、けやき診療所、竜ヶ池診療所

30年度 資金収支予算

【資金収支計算書】

Table with columns: 勘定科目, 本部, 保育園, 高齢者施設, 公益事業, 内部消去, 合計. Rows include 事業活動収支, 事業活動資金収支差額, 施設整備等収支, 施設整備等資金収支差額, その他の活動収支, その他の活動資金収支差額, 予備費, 当期資金収支差額合計, 前期末支払資金残高, 当期末支払資金残高.

(保育園は認定こども園を含む) (高齢者施設は障害を含む)

【資金収支計算書】

Table with columns: 勘定科目, 本部, 保育園, 高齢者施設, 公益事業, 内部消去, 合計. Rows include 事業活動収支, 事業活動資金収支差額, 施設整備等収支, 施設整備等資金収支差額, その他の活動収支, その他の活動資金収支差額, 当期資金収支差額合計, 前期末支払資金残高, 当期末支払資金残高.

(保育園は認定こども園を含む) (高齢者施設は障害を含む)

【貸借対照表】 成光苑全施設 (社会福祉事業・公益事業) 平成30年3月31日現在

Table with columns: 勘定科目, 金額. Rows include 流動資産, 固定資産(基本財産), その他の固定資産, 純資産の部 (基本金, 国庫補助金等特別積立金, その他の積立金, 次期繰越活動収支差額), 資産合計.

脚注

- 1. 減価償却累計額 3,813,350,108円

介護福祉士国家資格取得へサポート

ベトナム人留学生4名をアルバイト採用

成光苑(高齢者部門)では、ベトナム人留学生4名をアルバイトとして迎える(せつつ桜苑2名・吹田竜ヶ池ホーム2名)ことが決まりました。成光苑は1年半余り前にベトナムで開かれた法人説明会に参加、その後採用説明会を吹田竜ヶ池ホームで行い(今年1月22日)、来日に必要な諸条件をクリアした4名が選ばれました。留学生は日本語学校に通学するかわら入管法の範囲内(資格外活動)でアルバイトをすることになります。将来的には日本の介護福祉士養成学校へ進学し介護福祉士国家資格取得を目指します。



留学生にとっては介護現場を経験でき、施設側も貴重な介護人材としてアルバイト雇用できるメリットがあります。採用説明会では、「一生懸命習得した日本語で「私は○○(名前)です。ベトナム○○省(出身地)から来ました。頑張りますのでよろしくお願ひします!」としっかり自己紹介。両施設では、留学生のサポート役の専属スタッフが指導します。仕事を中心に介護の仕事に向き合う外国から来た仲間

に法人全体で期待が高まっています。日本語学校や受け入れ機関と連携を図ること、家族同様に接することを説明しました。介護人材不足が深刻なわが国で、共に介護の仕事に向き合う外国から来た仲間

サービス棟増設など 第2期工事

岩戸ホーム ユニット型特養が完成

岩戸ホーム(福知山市)は4月14日、特別養護老人ホーム岩戸ホームの第2期工事、ユニット型特別養護老人ホームの竣工式を行いました。式典には京都府や福知山市の関係者はじめ地域の皆様、福祉関係者、工事関係者ら約70名が列席されました。

式典では山田啓二京都府知事、大橋一夫福知山市市長から祝辞が寄せられ、成光苑の高岡國土理事長は謝意とともに「これまで以上に地域福祉の発展に貢献できるよう新たな気持ちで全力を尽くしていきたい」と述べ、設計・工事に尽力された(有)E2建築事務所様、(株)松村組様に感謝状が手渡されました。

ユニット型特別養護老人ホームは昨夏の第1期工事に引き続き進めてきたもので、改修棟(鉄筋コンクリート造2階建て)とサービス棟(鉄骨造2階建て)の増設を行いました。岩戸ホームの藤原義章施設長は締めくくりに「地域に愛される施設、を目指しスタッフ一丸、頑張っていく予定です」と決意を新たにされました。

【山田啓二京都府知事】「高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指し福祉サービスを切れ目なく包括的に受けることができる『京都市域包括ケア』を一層推進してまいります。」

【大橋一夫福知山市市長】「介護保険をはじめとする高齢者福祉の充実や地域包括ケアを推進、市民一人ひとりが支えあい、共に幸せを生きていくことが出来るまちづくりの実現を図ってまいります。」

熱中症に気をつけよう! 園玄関に「温湿度計」設置



認定こども園正雀愛育園

認定こども園正雀愛育園では熱中症予防対策として、6月から園の玄関内の柱に「熱中症予防対策温湿度計」を設置しました。

富永久美子園長が近隣の小学校を訪れた際、「温湿度計」が体育館に設置してあることに気づいたのがきっかけ。熱中症を予防し、子どもたちとスタッフの健康、安全を守るために設置されたものです。危険度は色分けされており、子どもたちも「まだ黄色じゃないから大丈夫だね」と関心があるようです。これから暑さ本番、安全、元気に乗り越えたいものです。



岩戸ホームの研究テーマが最優秀賞に

「自宅で看取る」実現の方向性示す 第13回研究発表会

第13回研究発表会(主催・成光苑)が他法人も参加し2月24日、ホテル阪急エキスポパークで開催され、岩戸ホームの「自宅で最期を迎えたい」その願いを実現する為に「定期巡回随時対応型訪問介護看護のサービスを通して」の研究テーマが最優秀賞を受賞しました。

岩戸ホームは先駆的にこのサービス(定期巡回随時対応型訪問介護看護)を開始し利用者数も年々増加。高齢者の多くが望まれる「在宅での看取り」実現のためのポイント、どんな支援が必要かなど考察した取り組みです。「在宅での看取り」実現の方向性を示し、さらなる工夫や努力を全国に発信したいと考えています。

サ高住 高槻けやきの郷 オープン!

高槻けやきの郷では4月1日、『サービス付き高齢者向け住宅(サ高住) 高槻けやきの郷』がオープンしました。サ高住とはバリアフリー対応の高齢者の賃貸住宅のことで48戸。お元気な60歳以上の方が入居の要件となっていますが、要介護の方も介護保険サービスを利用して入居できます。

2ヶ月余り経過し、順調に新規成約も増え、新しい生活を始められています。1階では「健康増進室(トレーニングルーム)」として、トレーニングマシンを各種設置、専門スタッフから指導を受けることができます。また、「レクリエーションルーム」では陶芸もOK。住民同士の活発なコミュニケーションの場「ラウンジ」では、入居者のみなさんのライフスタイルに対応した環境の充実を図っています。

同施設はJR高槻駅(阪急高槻市駅含む)までの自動車の無料定期運行(週3回:予約制)、ショッピングや病院の受診にも好評です。スタッフとご入居者との連携を密にし、地域に愛されるサ高住を目指します。



「健康増進室」など設置 最寄り駅への自動車無料定期運行も

30年度 事業計画 変化するニーズ、人の可能性を伸ばす福祉サービスを展開

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- (1) 財務管理の体制強化(経営状況の把握、分析)
 - ① 法人全体の事業の経営状況の把握及び財政基盤の安定を図るための経営分析
 - より多くのニーズに対応できる体制のもと、新たな事業展開にも対応できるように各事業の経営状況を把握し、収支バランスを安定させ、継続的な事業運営を図る
 - ② 会計監査人などの法定監査受審による、適正かつ継続的な改善を担保する組織強化
 - ③ 監事監査を含む内部管理体制の見直し
- (2) 人事・給与管理体制等の強化
 - ① 各部門における人事・給与に関する情報の集約と検討体制の整備
 - ② 高齢者部門施設長評価の継続実施(平成29年度施行)
- (3) 業務の効率化に向けた体制の検討
 - ① 各部門におけるICT化の推進に向けた検討
 - ② 法人ネットワークのクラウド化による各部門業務の効率化の追求
- (4) 適正な情報開示による経営の透明性の確保
 - ① ホームページによる情報開示(現況報告書・総括表、法人全体の事業報告・事業計画、財産目録、監査報告書、予算書・決算書、地域貢献活動状況等の各種活動状況等)
 - ② 法人広報誌「ききょう」の発行(年3回)による法人情報の公開(事業報告・事業計画、予算・決算、地域貢献活動状況等の各種活動状況、顧客満足度調査結果の公表)
 - ③ 第三者評価受審及び結果の開示(各施設のホームページ等から結果公表)
 - ④ 経営協 経営情報開示システムを利用し以下の事項について情報開示(法人概要、公益的 取り組み等の実施状況、財務情報報告)
 - ⑤ その他、各種行政等からの経営実態等のアンケート調査協力等
- (5) 法人本部体制の強化
 - ① 人員配置等の継続的見直し
 - ② 社会福祉法改正に伴う体制整備として、ご利用者や地域の人々に対する説明責任を果たし、地域に貢献できる法人の在り方を追求する

2. 福祉サービスの向上に向けた活動

- (1) 法人理念の周知の徹底(理念等を冊子化した「和顔愛語」の全職員への周知)
- (2) 地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開
 - ① 個々のご利用者の心身状態に応じた最善のサービスを提供するとともに、サービスの質の向上を常に念頭に置いた体制の整備
 - ② 変化するニーズ及びその人の可能性を伸ばす福祉サービスを展開する
- (3) 研修・マニュアル等の内容を見直し、より専門性の高いサービスを展開する
- (4) サービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備
 - ① 実施状況や受審に向けた体制確認及び結果・改善計画等の情報整理及び検証
 - ② 防犯体制や非常災害時等の対応や事業継続に係る計画の立案検討ができる組織体制の整備
 - ③ 各園・施設の現状に応じた体制を構築できるよう計画の策定状況等の確認を実施

3. 人材確保と育成・定着

- 人材確保及び育成体制等の充実や労働環境の整備に関する総合的・中長期的な視点での活動の展開を図る
- (1) 人事管理や給与体系をはじめとする処遇改善に向けた体制を整備し、労働環境改善のための活動を展開することにより人材の確保・定着につなげる
 - (2) 法人として求人活動内容全般を見直し、人材の確保につなげる
 - ① 人材確保に有効なホームページ・ネット・パンフレット等を活用した求人活動
 - ② 各園・施設及び法人のホームページ内の採用情報をはじめとする掲載内容の見直し
 - ③ 各園・施設のホームページの管理体制の見直し、定期的な更新を行える体制づくり
 - ④ その他求人に関わるツール、求職者への情報提供内容の見直し
 - (3) 優秀な実習生等を雇用へつなげる取り組み
 - ① 実習生に対するアンケート調査の実施(採用へつなげるための情報収集及び実習の満足度調査)
 - (4) 各種関係機関との関係構築
 - ① 関係構築を目的とした学校訪問
 - ② 学内フェアも含めた各種就職フェアへの参加
 - ③ 施設見学の積極的な受入及びその後の細やかなフォロー体制の構築
 - (5) 次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化
 - ① キャリアパス・ステップアップを明確化できる研修・組織体制の見直し
 - ・ 神戸大学名誉教授による研修・研究・人材確保に関する助言に基づいた体制の見直し 検討
 - ・ 各部門における幹部職層を対象とした法人幹部研修の企画
 - ② 法人理念・経営方針・大切にしたい想い・求めるスタッフ像(「和顔愛語」)の全スタッフへの周知体制の強化
 - ③ 高齢者部門における外国人労働者への受入・育成体制の整備

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- 社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取り組みのさらなる展開を図る
- (1) 地域の福祉ニーズへの対応
 - ① 全園・全施設における地域公益活動の充実、更なる展開(※詳細は各施設の事業計画参照)
 - ② 地域貢献事業推進担当者の設置等の体制整備による内容の充実化
 - ③ 生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への拠出
 - 大阪:「大阪しあわせネットワーク」
 - 京都:京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」
 - (2) 災害発生時の支援体制として、福祉避難所の整備と物資の備蓄、スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動を推進する
 - (3) 各施設の総合相談窓口設置における地域相談事業の展開

明日の保育を担う若い力を育てる



保育基礎研修

にとっては入社後初めての大きな法人研修です。

保育の専門職としてだけではなく、社会人として、また成光苑スタッフとしての行動規範の周知、特に、福祉の原点であり、法人独自の指針となっている「和顔愛語」(優しさと思いやり)の冊子を用い共通理解を深めるのが研修の目的です。

新入、3年目までの保育スタッフ32名が参加

成光苑保育部門では5月26日、愛育会館3Fホールで、新入スタッフと3年目までの保育スタッフの保育基礎研修を実施しました。参加者は計32名。各園の主任保育士、主幹保育教諭が企画したもので、新入スタッフ

プログラムも盛りだくさんで、マナー・人権・安全管理、書類作成(復命書・月案・週案など)についてはグループワークを通じ活発な意見交換が行われました。新入スタッフからは「わかりやすい内容で、これからは頑張ります!」と期待する声も聞かれました。保育の将来を担う若い力の成長が楽しみです。

～先輩からのメッセージ～
職場体験で保育士になりたい!
 得意な動きのリズムで憧れの存在に



中尾 涼子
 きりん夜間愛育園
 平成30年度入社

中学生時代の職場体験で保育園のことも関わったことが、私が保育士になりたいと考えるきっかけでした。現在1歳児の担当です。初めは接し方に戸惑うことがたくさんありましたが、大好きな子どもたちが元気に遊ぶ姿にパワーをもらい笑顔に戻ることができました。今後も先輩方に見守られ、子どもたちの成長を感じながら日々学んでいきたいと思っています。私の得意な動きのリズムや体育活動など、いつか憧れの存在になれるように頑張ります。

子どもの命を守るを最優先に

新入・新任幼児担当が緊張のスイミング研修

保育部門では5月12日、千里丘スポーツプラザ(吹田市)で新入スタッフと新たに幼児担当になったスタッフ18名がスイミング研修に参加しました。講師は、園児が日頃から指導を受けている同施設のスイミングコーチ。コーチから、スイミングの指導は「上手に泳げることよりも、まずは命を守る

1年間の実践的な取り組みを発表

愛育園8カ園の合同研修が3月26日、ホテル阪急エキスポパーク(吹田市)で行われ約100名の保育スタッフが参加しました。

高岡国土理事長の基調講演に始まり、各園代表の1年目スタッフが「1年を振り返って」、各園からは「1年間の取り組み」の実践発表が行われました。午後からは寺田清美氏(内閣府幼保連携認定子ども園教育・保育要領検討会委員)と谷本佳永子氏(一般財団法人 日本アタッチメント育児協会 認定インストラクター)の講演・指導があり、寺田氏は「保育指針改定と要領改定のポイント」と題し、制度改訂のポイントを押さえながら、質の高い保育を展開するための専門性の向上などについて述べられました。

谷本氏は「歌唱指導について」をテーマに、「音を楽しむから音楽である」という観点から表情や言葉、雰囲気作りが重要であると指摘され、実践的なピアノ演奏では音の表現力を肌で感じる事ができました。



愛育園合同研修会に保育スタッフ約100名

保育施設 30年度研修計画

キャリアパスをイメージした研修体制として新人、中堅(職務分野別リーダー、専門リーダー、副主任)、管理者(主任/主幹、園長)に区分し、法人研修では、主に1～5年目のスタッフを対象と

した内容で実施。中堅職層は、処遇改善加算Ⅱの要件となる研修受講を進める。自己評価については引き続き定期的実施、スタッフ自身が保育を振り返るとともに、育成体制や園全体の改善につなぐことを目指す。

研修名	対象者/回数	内容
愛育園合同研修会	全スタッフ・年1回(新規採用者含む)	年度ごとにテーマを設定し、外部講師による講義等も含め、全園保育スタッフ及び新規採用者が参加する研修会の実施。
保育基礎研修	新人～5年目以内の者・年1回(年度途中でフォロー)	各園の主任・主幹が講師となり、①心得・マナー、②平常保育、③記録等の3つのテーマを設定した研修会の実施。
人権研修	新人～5年目以内の者	子どもの人権を尊重した保育が実施できるよう人権に関する知識を深める。
スイミング研修	新人及び2～3年目の者・年1回	実技等を通して、初級レベルの指導方法や安全基準について学ぶ。
リズム研修	①新人及び乳児担当者 ②幼児担当者	子どもへのリズム指導のスキルアップを目的として実施。(実施回数未定)
公開保育	担当園が開催・年1回	法人内の担当園が主催し、保育の見学及び情報交換を実施。自園の保育を見直す機会とする。
子育て支援対策委員会	各園子育て支援担当者・年6回	地域子育て支援事業の充実のため情報共有、協働活動を実施。地域の子育て中の家庭に対する情報発信のための通信の発行。
給食担当者会議	給食担当者・年4回	子どもへの食事の提供の充実のため献立の共有等の機会を確保するとともに、給食担当者の衛生管理体制の確認及び業務の効率化の検討等を行う。
主任・主幹会議	主任保育士/主幹保育教諭・年6回程度	保育部門の育成体制の構築に係る事項や各園の安全計画や事故報告の共有等、リスクマネジメント体制の整備に向けての検討を進める。
園長検討会	全園長・年3回程度	各園で受審した第三者評価の結果の分析、課題等を抽出し、管理者として情報共有を図り、改善に向けた検討を行う。

保育施設 29年度研修報告

月	研修名	対象
4月	主任・主幹会議①②	指導者
	子育て支援担当者会議①	担当者
5月	保育基礎研修	初任者
	主任・主幹会議③	指導者
6月	給食担当者会議①	担当者
	スイミング研修①	初任者
7月	漢字研修①(初級)	初任者
	園長検討会①	園長
8月	主任・主幹会議④	指導者
	第三者評価勉強会	全職位
9月	主任・主幹会議⑤	指導者
	給食担当者会議②	担当者
10月	部下指導研修	中堅
	リズム研修②(幼児)	中堅・担当
11月	主任・主幹会議⑥	指導者
	子育て支援対策委員会⑤	担当者
12月	主任・主幹会議⑦	指導者
	障がい児保育研修	中堅・担当
1月	主任・主幹会議⑧	指導者
	漢字研修②(指導者養成)	中堅
2月	主任・主幹会議⑨	指導者
	子育て支援対策委員会④	担当者
3月	給食担当者会議③	担当者
	主任・主幹会議⑩	指導者
	愛育園合同研修会	全職位

在日外国人の介護福祉士資格取得を支援

「グローバル初任者研修」修了者は100人超える

成光苑高齢者部門（京都エリア）では今年度（7月5日）から、在日外国人を対象に「グローバル実務者研修」を新規開講することにいたしました。今回で8回目の開講（7月14日）からとなる「グローバル介護員初任者研修」は、在日外国人のみならずにも介護技術を身に付けてもらい、共に地域介護を支えるスタッフ育成を目的にスタート、修了者が100名を超えました。

新規に開講「グローバル実務者研修」

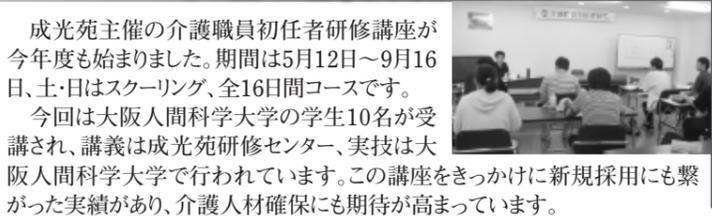
27年4月には介護福祉士受験資格が変更となり、実務経験（3年以上）に合わせ実務者研修（450時間）修了が資格取得（実務経験ルート）に義務付けられました。

した。在日外国人が実務者研修を1年間修了するには、言葉の壁や、講義スライドなどハードルが高く、国家試験受験にチャレンジすることがさらに難しい状況です。

介護職員初任者研修講座始まる 大阪人間科学大学生10人受講

成光苑主催の介護職員初任者研修講座が今年度も始まりました。期間は5月12日～9月16日、土・日はスクーリング、全16日間コースです。

今回は大阪人間科学大学の学生10名が受講され、講義は成光苑研修センター、実技は大阪人間科学大学で行われています。この講座をきっかけに新規採用にも繋がった実績があり、介護人材確保にも期待が高まっています。



自覚と期待胸にそれぞれの職場へ

ファーストステージ研修 (新入スタッフ対象)

成光苑高齢者部門では4月～5月、新入スタッフ対象の「ファーストステージ研修」を実施しました。全体研修（ステージI）と地域別研修（大阪エリア・京都エリア=ステージII）が行われ、新入スタッフのみならず、成光苑のスタッフとしての自覚と期待を胸にそれぞれの職場に就きました。



全体と地域別研修通じ介護技術の基礎やコミュニケーションの大切さ学ぶ

ファーストステージI(4月2日、3日=会場せつつ桜苑)には23名の新入スタッフが参加、高岡國土理事長から「しっかり目標・目的を持つことで結果は大きく変わる。頑張るってほしい」と激励を受けたあと、「社会人の第一歩として～信頼されるスタッフになるには～」をテーマに増田知乃氏(有限会社レイズ代表取締役)が講義。レゴ(ブロック)を用いたグループワークを行い、同じ制作物でも人によって大きさや選ぶ色も違う、チームとしての仕事は、相手の状況や気持ちを受け止めるコミュニケーションが大切と指摘されました。

地域別研修の大阪エリア(会場せつつ桜苑)では、チュータースタッフが中心となり記録の書き方、緊急時対応、介護技術など現場で必要な知識と技術を指導。京都エリア(会場ライブ・ステージ 舞夢)では、全職種対象の共通研修と介護ス

タッフ対象の介護研修を実施。各施設の介護スタッフが担当し、共通研修は施設運営のシステムや救命救急など、介護研修は介護のりハビリ基礎、高齢者の医療など基礎的な技術演習や講義が行われました。

～先輩からのメッセージ～

「ありがとう」と言っていたる素敵な仕事

「私の方こそ」と感謝と笑顔大切に



桐村 風香
サンヒルズ紫雲館
平成30年度入社

大学生の時、高齢者施設でアルバイトをしていました。学業で疲れている時もありましたが、ご利用者の笑顔に癒されコミュニケーションがとても楽しかったことが福祉の仕事を決め手になりました。成光苑に入社して2ヵ月、「ありがとう」と言っていたる素敵な仕事だと実感しています。ご利用者から日々学ばせていただくことが多く、私の方こそ「ありがとう」という感謝の気持ちで一杯です。今後ご利用者の笑顔のために、私自身も笑顔を大切に頑張りたいと思います。

の新人・チューターの研修体制の全体的な見直しを図り、認知症ケア研修の実施も含め新たに下表のとおり実施する。

なお、外国人労働者やベトナム人留学生の育成体制充実のため、引き続きグローバル研修を実施する。

高齢者施設 30年度研修計画

昨年度に引き続き介護の原点に立ち返り、ご利用者の尊厳保持、コンプライアンス、福祉倫理観の共有を重点ポイントとした研修内容へと見直しを進める。キャリアアップが明確に描けるよう従来

研修名	対象者/回数	内 容
ファーストステージ研修Ⅰ・Ⅱ (新人職員基礎研修)	入職1年未満のスタッフ ※Ⅰ：①主に新卒者(4月) ②中途採用者(10月) ※Ⅱ：地域別研修	・Ⅰ：求められる人材像、ビジネススキルの基礎、マナー、法人の各種取り組みへの理解等 ・Ⅱ：法人の仕組み、活動の基礎、人権擁護、リスクマネジメント、認知症ケア等 ・1年間の振り返りと2年目へのステップアップ
ファーストステージ研修Ⅲ (新人ステップアップ研修)	研修Ⅰ・Ⅱの受講者	・新人スタッフを指導するための教授法 ・部下指導のためのコミュニケーションスキル ・新人スタッフの育成プログラムの使い方等
ネクストステージ研修Ⅰ (チューター養成研修)	新人スタッフを主に育成・サポート評価する者	・チューターとしての課題抽出とステップアップ ・モチベーションアップのための講義
ネクストステージ研修Ⅱ (チューターステップアップ研修)	OJTに関わり6ヶ月過ぎたチューター(1日)	・3段階の階層に区分し、インバスケットの手法を用いて各等級に求められている知識等の習得 ・仕事の優先順位を考え状況対応能力の向上 ・研修Ⅲについて、管理的スタッフとして必要なマネジメント能力をはじめとする知識・識見の習得
キャリアアップ	※Ⅰ：1～3等級 ※Ⅱ：4～6等級 ※Ⅲ：M1～M3等級 ⇒10月頃実施	

※毎月実施・経営品質PJ、つばみの会
※随時、新人職員基礎研修Ⅱを京都/大阪で実施
※その他、各エリアでテーマを設定し地域別研修を実施

29年度 事業報告

改正社会福祉法に対応、自立性の高い安定した事業経営を推進

社会福祉法人の存在意義が不明確になりつつある中で、社会福祉法人制度改革は社会福祉法人が公益性の高い法人にふさわしい規律を確保するため、過去の国等の規制改革推進会議等の指摘を踏まえ、①経営組織のガバナンスの見直し②財務規律の強化(いわゆる内部留保の明確化と社会福祉事業等への計画的な再投資)③地域における公益的な取組の責務等の規定を設けることにより、社会福

祉法人の公益性・非営利性を制度的に担保したものであり、着実な実施が必要とされた。このため、社会福祉法人 成光苑では、冒頭の法人理念・経営方針に基づき、平成29年4月から全面施行された改正社会福祉法に対応できる体制への移行と併せ、その役割と責務を果たすべく、確実、効果的かつ適正な法人事業運営を行うことにより、自律性の高い安定した経営を目指し、平成29年度の法人・施設(保育部門・高齢者部門・障がい部門)の事業は、ほぼ計画どおり実施した。

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 財務管理の体制強化【重点】**
 - 法人全体の事業の経営状況の把握及び財政基盤の安定を図るための経営分析
 - 法定監査受審による、継続的な改善に伴う組織強化
 - 監事監査を含む内部管理体制の見直し
- 人事・給与管理体制等の強化**
 - 高齢者部門施設長評価を全面的に改定し、新たな評価項目で運用開始(平成29年度施行)
 - 各部門における人事・給与に関する情報の集約体制の再構築については継続課題。
- 業務の効率化に向けた体制の検討**
 - 各部門におけるICT化の推進に向けた検討
- 法人理念の周知の徹底(理念等を冊子化した「和顔愛語」の全職員への周知)**
- 適正な情報開示【重点】**
 - ホームページによる情報開示(現況報告書・総括表、法人全体の事業報告・事業計画、財産目録、監査報告書、予算書・決算書、地域貢献活動状況等の各種活動状況等)
 - 法人広報誌「ききょう」の発行(年3回)による法人情報の公開(事業報告・事業計画、予算・決算、地域貢献活動状況等の各種活動状況、顧客満足度調査結果の公表)
 - 第三者評価受審及び結果の開示(各施設のホームページ等から結果公表)
 - 経営協 経営情報開示システムを利用し以下の事項について情報開示(法人概要、公益的 取り組み等の実施状況、財務情報報告)
 - その他、各種行政等からの経営実態等のアンケート調査協力等
- 法人本部体制の強化**
 - 平成29年度より新たに保育部門の担当理事1名を法人本部に配置し、保育部門を統

- 括した。
- 中長期計画の見直し**
 - 各部門において、法人が定める「基本的な取り組みの方向性」に基づき、中長期計画の在り方
- 老朽改築・新規事業展開等**
 - 岩戸ホーム 特別養護老人ホーム老朽改築(平成29年6月より一部ユニット型への移行)がすべて完了し、平成30年4月14日に竣工式を実施。
 - 入居者のニーズに応じた多様なサービスが提供できるよう、高槻けやきの郷に併設するサービス付高齢者向け住宅を開設(平成30年3月10日竣工式・内覧会を実施、4月1日開設)
 - 生活介護・児童発達支援に加え、障がい福祉サービスの対応の幅を拡げ、より総合的なサービスを実施するために、新たに「放課後等デイサービス事業」を開設し、切れ目のない多様なニーズに対応できる体制を構築。
 - 東生野愛育園(定員120名)に名称変更し、大阪市より民間移管(平成29年4月1日より)
- 日本経営品質賞の考え方に基づく経営品質向上活動の展開**
 - 高齢者部門各施設の代表者(部課長)で構成されるプロジェクト会議による経営品質向上活動を推進(毎月1回実施)。アセスメント基準書の視点に基づき法人の現状(強み・弱みの抽出等)
 - カテゴリーの検診・協議により達成目標の設定及び活動結果の効果測定項目の選定を行い、平成29年度版の組織プロフィールを作成。
- 高齢者部門におけるISO9001システムの適正な運用管理**
(平成29年4月よりISO9001:2015規格へ移行)

2. 福祉サービスの向上に向けた活動

- サービスの外部監査・内部監査の実施による評価・確認体制の整備**
 - 高齢者部門における2015規格に移行したISOシステムに基づく内部監査(年2回)及び自主点検表による自己チェック(年1回)を実施。
 - 保育部門において、第三者評価受審に向け、法人全体で勉強会を実施し、各園で体制を構築。5ヶ園が受審済。
- 防犯体制や非常災害時等の対応や事業継続に係る計画の立案に向けた検討**
 - 各園、各施設の現状に応じた体制を構築できるよう計画の策定
 - 非常災害時に備えた避難訓練等の実施(非常食の提供等)
- 顧客満足度調査の実施**
 - 日常生活圏域の65歳以上の高齢者を対象として、老人ホームの印象や地域の現状、期待すること等に関して、聞き取り調査を実施(183名からの回答)。

- 保育部門統一の項目に基づき、全国・全世帯対象に9月に実施(758世帯に配布、334世帯から回答)し、自動集計ソフトを使用して集計。
- 高齢者虐待防止に関する体制の強化**
- 全施設における認知症ケアの充実のための体制整備**
- 「保育所保育指針」及び「認定こども園教育保育要領」の改訂に伴う各種指導計画の様式の検討・共通様式の作成。**
- 保育サービス等に関する自己評価・園評価の実施**
 - 保育部門統一の項目に基づき自己評価(保育内容5領域)を実施し、各園において個々のスタッフの課題を抽出、研修計画を策定し、サービスの質の向上と改善につなげた
- 障がい部門における法人内各施設(介護・保育)及びその他外部関連機関と連携した総合的サービスの提供**

3. 人材確保と育成・定着

<人材確保活動結果>

採用者数	四大卒	短大・専門卒	高 卒	一 般	合 計
高齢者施設	5	9	0	0	14
障がい施設	0	0	0	0	0
保育施設	4	6	0	0	10
合 計	9	15	0	0	24

- 各種関係機関との関係構築**
 - 関係構築を目的とした学校訪問
 - 学内フェアも含めた各種就職フェアへの参加
 - 施設見学の積極的な受入及びその後の細やかなフォロー体制の構築
- 処遇・労働環境の改善【重点】**
 - 部門別に離職率の算出(4/2～3/31離職者÷4/1職員数)。高齢者・障がい部門(→5.4%)保育部門(→0.1%)ともに平成28年度より低下、改善傾向にある。
 - 各部門の給与規程・就業規則の見直し(高齢者部門の準正規職員の無期契約への移行及び施設採用から法人採用への改定等)。
- 高齢者部門における職員の意識調査等の結果に基づく、改善計画の策定及び実践**
 - 平成28年度改善計画の振り返り、各施設において評価に基づいた実践の展開。実践結果については、平成29年度の調査結果に基づき再度検証(強みと弱みの抽出等)。
- 外国人労働者への受入・教育体制の整備**
 - 留学生(アルバイト)及び介護技能実習制度を利用したベトナム人の受け入れに向けた体制整備として、各受け入れ施設に担当者を配置し、当該プロジェクトメンバー及びサポートメンバーが、定期的な会議を開催し、情報共有や課題の整理等を実施した。
- 研修体制の見直し及び幹部職層の育成体制の強化**
 - 各部門における幹部職層の育成を目的とした研修会の企画

- 人材確保に有効なホームページ・ネット・パンフレット等を活用した求人活動**
 - 各園・施設及び法人のホームページ内の採用情報をはじめとする掲載内容の見直し
 - 各園・施設のホームページの管理体制の見直し、定期的な更新を行える体制づくり
 - その他求人に関わるツール、求職者への情報提供内容の見直し
 - 採用ページ(法人)の最新情報及びビジュアルのログ化
 - 採用に関する情報(就職フェア、採用試験、ボランティア活動、研修等)人材育成)のアップ
- 優秀な実習生等を雇用へつなげる取り組み**
 - 実習生に対するアンケート調査の実施(採用へつなげるための情報収集及び実習の満足度調査)

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- 全国・全施設における地域公益活動の充実、更なる展開
- 地域貢献事業推進担当者の設置等の体制整備による内容の充実化
- 生活困窮者への支援体制の整備及び基金への拠出
(大阪:大阪しあわせネットワーク/京都:京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」への参画)

- 災害発生時への支援体制の整備として、福祉避難所としての備蓄、スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動を推進する
- 各施設における総合相談窓口設置について地域等への周知方法の再検討

避難誘導やAED訓練を怠りなく「そだね〜!」

地域住民と自主合同防災訓練

岩戸ホーム



岩戸ホームは6月10日、地域との共助力を高めるため、近隣の鴨野町住民、自治会各組(全10組)と岩戸ホームのスタッフ合同の防災訓練と「集う会」に参加しました。

福知山消防署員5名を招き、組ごとの避難誘導、消火栓(10ヶ所)にホースをつなぎ放水訓練などを体験。引き続き練習マネキンを用いて胸骨圧迫の心肺蘇生法、AED訓練(写真)を全員で行いました。30回の圧迫

でネをあげる方もおられました。指導員から「救急車が到着するまでの平均時間は9分、約900回は圧迫が必要」との説明に参加者の表情もさらに引き締まったようです。

午後は、岩戸ホームのご利用者も加わり、オリジナルの道具をカーリングのストーンに見立てた『カモリング(鴨野町をもじったオリジナルゲーム)』を楽しみました。冬季オリンピックさながらに「そだね〜!」の声も飛び出しました。

オレンジリングを新たに8名に

民生児童委員対象に「認知症サポーター養成講座」

ライフ・ステージ 舞夢

ライフ・ステージ 舞夢は4月20日、施設見学に来訪された由良川民生児童委員協議会の方(11名)を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。「認知症の方を地域で支えるために」をテーマに認知症への理解を深めてもらいました。



認知症に関するDVDでは「わかりやすい」と感想も寄せられました。講座後、認知症サポーターの証“オレンジリング”を新たに8名の方(他の3名は取得済み)に贈呈、認知症サポーターが誕生しました。

「くつろぎタイム」をどうぞ

DVD鑑賞や マッサージコーナーも

くつろぎ
タイム

吹田竜ヶ池ホーム(地域密着型デイサービスセンター)は4月1日から、ご利用者が有意義なひとときを楽しめる「くつろぎタイム」を設定しました。昼食後の午後1時から2時、専用のプレートをフロアに掲示し視覚的にも周知しやすい工夫をしています。

ご利用者がDVD鑑賞や新聞・雑誌を読むなど自主的かつ自由に選び食後のひとときを過ごしてもらうのが目的です。図書コーナーや遊びコーナー、マッサージコーナーなども新設、ご利用者からは「こんなものがあつたら」と要望や意見も活発、今後の展開が期待されます。

振り込め詐欺被害を防ごう

高槻警察署員から未然防止法を伝授

高槻けやきの郷では、昨秋に引き続き地域福祉推進会議企画の第5回“元気祭り”が5月12日に開かれ、福祉用具メーカーにも協力してもらい、地域の高齢者のみなさんに元気のある生活を送ってもらえる提案や講座を行いました。

今回のメイン企画として、高槻警察署員を招き特殊詐欺(振り込め詐欺)被害を防ぐ講座を実施。高槻署管内で振り込め詐欺が多発しているため、同署員は高齢者の生活を脅かす巧妙な詐欺の実態や未然に被害を防ぐ方法(例えば高槻市は詐欺電話防止機器を無料貸与など)を伝授されました。

アンケートでは、次回開催を待ち望む声が多く寄せられました。



【過疎地域交通弱者の移動支援】

【施設資源の開放・備品貸し出し】

【子ども110番運動への参画】

【ベトナム人留学生の受け入れ】

29年度地域貢献活動報告

高齢者部門	保育部門
【地域に焦点を当てた事業展開】	
<ul style="list-style-type: none"> 交通弱者の移動支援の取り組み(過疎地域有償運送)の運行(4往復/日) 延べ利用者数:2000名 福祉有償運送(移動困難者に対する安価での移動支援)の運行 地域行事への積極的な参加及び地域との共催による行事の実施(夏祭り、陶芸教室、イルミネーション点灯等) リハビリ機器を利用した訓練の実施等施設資源の開放 地産地消の取り組み 地域交流スペースの開放や喫茶等の運営 地域と協働し施設敷地内での野菜栽培、収穫、販売等 高齢者涼やかスポットの設置 車椅子や施設備品等の貸し出し 	<ul style="list-style-type: none"> 親子教室での年齢に応じた遊びの提供(製作、リズム、絵本の読み聞かせ等) 各園の保育室、園庭、プール、絵本室等の開放、絵本の貸出 地域の親子で結成するサークル活動支援として場所の開放 近隣の公園や公民館、小学校等での地域の親子への遊びの提供、イベント開催 園の季節の行事への招待及び地域の親子を対象とした独自のイベント開催 赤ちゃんの駅(おむつ替えや授乳ができる施設)の登録 地域が主催するイベントへの参画(和太鼓演奏・手作り玩具の出展等) 地域の療育を必要とする親子への支援(製作等)
【地域における福祉推進】	
<ul style="list-style-type: none"> 施設における地域の総合相談窓口の設置及びその周知 認知症あんしんサポート相談窓口、認知症カフェ等開設 相談援助活動へのスタッフ派遣及び介護相談会の実施 介護職員初任者研修事業の講師派遣 地域住民に対する介護技術等勉強会の開催 外部主催の認知症サポーター養成研修をはじめとする認知症関連研修への講師派遣 介護予防教室の実施(農閑期の閉じこもり防止等) 一人暮らし高齢者宅への配食サービスの提供及び安否確認 地域ボランティアの積極的な受入及び交流会等の実施 学校訪問授業として認知症サポーターキッズ養成講座の開講 子ども福祉ボランティアの育成講座の実施 次世代育成のための小中学生の職場体験及び社会福祉体験学習等の受入 子ども110番運動への参画 介護、看護、相談援助等の専門職実習生の受入 	<ul style="list-style-type: none"> 育児相談の一環として地域の保護者向けに、子どもの健康やふれあい遊び、絵本に関する情報を掲載した通信を自主作成し無料配布 育児相談員およびスマイルサポーター(大阪府知事認定)による育児相談窓口の設置(来所・電話等) 保育士等による専門性を活かした講座(ベビーマッサージ等)の開催 絵本の貸出、絵本講座の開催等 市主催の子育てイベントへの参画 校区福祉委員会主催の子育てサロンへのスタッフ派遣 地域の子育て支援担当者間の情報交換会への参画 一人暮らし高齢者宅の訪問(七夕飾り、野菜等の寄贈) 次世代育成としての小中学生の職場体験や高校生のインターンシップの受入 保育士養成校からの保育士養成実習の受入 地域ボランティアの積極的な受入
【社会的援護を要する人々への支援】	
<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人等利用者負担軽減制度、特別地域加算減免事業の実施 通所サービスの時間外での受入、食費負担軽減 地域の高齢者からの通報への対応(24時間365日) 虐待・DV避難ケース等の緊急受入体制の整備 生活困窮者自立支援法に基づく中間的就労の受入れ 大阪しあわせネットワークへの参画・基金への拠出 生活困窮者等に対する相談支援事業及びCSWの配置・養成 京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」への参画 	<ul style="list-style-type: none"> 特別保育事業(一時預かり保育、延長保育等)の実施 被虐待児童への関係機関との連携等による支援 大阪しあわせネットワークへの参画・基金への拠出
【国際交流】	
<ul style="list-style-type: none"> 地域の在日外国人(フィリピン、中国)の雇用及び体制整備 雇用する在日外国人スタッフへの日本語勉強会(つぼみの会)等を毎月実施 グローバル介護職員初任者研修の開催 介護技能実習制度の導入に備えた関連機関との情報共有等 ベトナム人留学生の受入に伴う体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 他国籍の子ども・保護者とのコミュニケーション支援 異文化交流を目的とした近隣の小学校等との連携
【地域団体などとの連携の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> 市、市医師会等と連携し地域包括ケアシステムの構築・地区の福祉推進協議会や施設事業者連絡協議会等への参加による地域連携強化・スタッフ派遣、イベントへの参画 地区の福祉推進協議会や地域貢献委員会等への参画 校区のPTAとの協働、自治会活動へのスタッフ派遣 ボランティア団体との懇親会の開催 日本赤十字の企業献血への協力推進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の老人会・民生委員・主任児童委員・自治会長等との連携(交流会の開催等) 中学校区における地域教育協議会への参加 小学校地区における関係団体との連携した行事の開催 市の保健師と連携し、講座の開催や地域の児童の身体測定等の実施 保健センターでの定期健診の待ち時間を活用した遊びの提供
【災害支援・環境対策】	
<ul style="list-style-type: none"> 自治会等地域との総合防災訓練の実施、防災協定の締結 地域の避難所としての指定、防災倉庫の設置等災害発生時のネットワークの構築 厨房委託業者との災害支援協力体制整備 京都府災害時要配慮者避難支援センターの活動への参画 一人暮らし高齢者宅の防火訪問 地域の除雪作業の支援 涼やかスポットの設置等 5法人間での防災協定の締結 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の草抜き・清掃活動への参加 牛乳ノック、ベルマーク、エコキャップ運動の実施 エコ育の更なる充実 日本赤十字共同募金への募金 5法人間での防災協定の締結
【独自の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> 京都府高齢者あんしんサポートハウス(低所得者に対応した家賃設定)の運営 地域の空家の高齢者の住まいとして活用に係る体制構築 地域住民のニーズに対応した基準該当障害福祉サービスの提供 外国人介護人材発掘のための関連機関との検討会等の実施 24時間365日型訪問介護事業の取り組み 介護保険外での一人暮らしの高齢者への支援 日本財団「夢の貯金箱」(自動販売機の売り上げのうち10円を寄付)の全施設設置 	<ul style="list-style-type: none"> 365日型(日曜・祝日保育、年末年始)保育が実施できる体制の構築 地域の待機児解消に向けた事業展開の検討(増築等による定員増)

「こいのぼりをつくる会」

子育て支援の季節イベント実施

認定こども園一津屋愛育園



認定こども園一津屋愛育園は4月27日、地域にお住まいの親子を対象に『こいのぼりをつくる会』を開き、0~2歳児の子ども21名と保護者が参加されました。

地域子育て支援担当者が中心になって企画している季節に応じたイベントで、親子で楽しい“小さなこいのぼり”作り。お母さんの膝の上で手形をスタンプしたり、カラーシールを貼るなど感性豊かなこいのぼりが出来上がりました。子どもたちはこいのぼりを握りしめ元気に走り回り、2階の遊戯室から見える園庭の大きなこいのぼりに歓声をあげていました。

お花見会

緊張しながらお抹茶を差し上げました!

第二愛育園に地域の高齢者招く

第二愛育園では4月10日、地域の高齢者19名を招き、満開桜をやや過ぎたところでしたが園庭でお花見会を行いました。5歳児からまず、抹茶とお菓子を緊張しながら差し上げましたが、高齢者のみなさんは優しく見守っておられました。その後、3~5歳児から歌のプレゼント。「幸せなら手をたたこう」の歌に合わせて手を握ってもらったり、抱きしめてもらいスキンシップ。子どもたちは恥じらいつつうれしそう。

昼食は5歳児が高齢者のみなさんと一緒にお弁当を食べ、「みんなで食べると美味しいね〜」と楽しいひとときを過ごしました。

おやつを食べよう会

地域老人会のみなさんと芋蒸しパンを楽しむ

千里丘愛育園では5月30日、4歳児(46名)が地域の老人会(15名)の皆さんを招き「おやつを食べよう会」を開きました。

予定時間が近づくと子どもたちもワクワク。みなさんが来園されると、緊張のうちにも手を繋いで保育室まで案内できました。「おばあちゃんの名前、何て言うの?」「保育園でどんな遊びが楽しいの?」とお互いに会話が弾み、おやつの“芋蒸しパン”を楽しみながら交流する姿が見られました。子どもたちは“いちご”と“おつかいありさん”の歌を披露し、手作りペンダントをお年寄りの首にかけてプレゼント。名残り惜しいひとときとなりました。



千里丘愛育園の4歳児